

沖縄県における漂流・漂着ゴミ対策に関する取組の現状

沖縄県文化環境部環境整備課

1 沖縄県の沿岸・海岸の地域的特性

沖縄県は、沖縄本島、宮古島、石垣島及び西表島の 4 島を中心とした 40 の有人島を含む 160 の島嶼からなる日本唯一の離島県であり、これらの島々は、南北約 400km、東西約 1,000km に及ぶ広大な海域に点在しています。

その沿岸域は、約 2,027 km の海岸線延長（全国第 4 位）を有しており、亜熱帯特有のサンゴ礁、エメラルドグリーンに輝く海、白い砂浜や湿地帯のマングローブ等、優れた自然景観を呈しています。

2 海岸漂着ごみの現状と課題について

(1) 現状

近年、海岸への廃プラスチック類、発泡スチロール等のごみの大量漂着により、本県の自然環境、生活環境の保全に止まらず、景観や観光産業へ与える影響が懸念されています。

また、漂着ごみの収集・処理に関しては、市町村に係る財政等の負担が大きくなっている状況にあります。

(2) 課題

ア 本県における海岸漂着ごみは、沿岸地域の自然環境及び生活環境の保全上の課題に止まらず、白い砂浜等の自然景観を損なうことによって、観光振興の面からも大きな支障を与えかねません。

イ 漂着ごみの収集・処理に関して、海岸管理者が海浜地域浄化対策費として市町村へ処理を委託し、一定の費用が配分されていますが十分とはいえません。

ウ 漂着ごみの収集・運搬については、その労力確保が課題となっており、地域の住民やボランティア等に依存しています。

エ 処理については、付着している塩分が焼却の際に影響を与えることや、離島市町村の一般廃棄物処理施設では能力的に対応できず、島外の産業廃棄物処理施設まで運ぶこととなり運搬費用がかかることなどがあります。

3 本県の取り組み

(1) 海浜地域浄化対策費（土木建築部）・海岸保全管理費（農林水産部）

海岸管理者が市町村へ海浜清掃を委託する費用として、各市町村へ配分しています。

(2) 「ちゅら島環境美化条例」による、ごみ散乱防止啓発活動

- ・市町村と連携した「ちゅら島環境美化促進全県一斉清掃」を実施しています。
- ・市町村と連携した「環境美化促進モデル事業」を実施しています。
- ・ごみのポイ捨て防止公開パトロールを実施しています。

(3) 「沖縄クリーンコーストネットワーク」の海岸保全活動

- ・第十一管区海上保安本部が提唱し、関係機関・ボランティア団体・マリンレンジャー団体・個人等が連携して海岸清掃活動を実施しています。

(4) 「めんそーれ沖縄一斉クリーンアップ」（観光商工部）

- ・観光関係団体等と連携して清掃作業を実施しています。

(5) 「御万人（うまんちゅ）すりていクリーン・グリーン・グレイシャス」（教育庁）

- ・各自治体、教育関連団体と連携して清掃作業を実施しています。

(6) 災害等廃棄物処理事業費補助金及び循環型社会形成推進交付金の活用

- ・市町村からの交付申請についての指導・助言を行います。

4 今後の新たな取り組みに向けて（国への要望）

- ・漂着ゴミの大半は外国製であることから、国際的な発生源対策をお願いします。